

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会  
2025年度(令和7年度)の主な活動実績及び決算報告

■ 2025年度、活動の概要

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会として、箕面自然休養林を中心に、市民が中心となった活動による整備・管理及び活用を促進するため、情報の共有化と意見交換に努め、自主的な行動発生のための協議会例会を7回開催し、対話と協働的な取り組みを継続しました。

環境整備・保全の活動として、林野庁勝尾寺園地などにベンチ5台設置した他、利用者の安心・安全を目的として、新規の緊急ポイントの道標を7か所(計174か所)設置しました。あわせて、寄付金収入を元にフィールドマナー向上を目的として、ピクトグラムと英文を表記した立て看板を7か所に設置しました。

また、清水谷のネット内外の植生調査やエキスポの森のウシガエル駆除活動を継続した他、増えすぎた二ホンシカのモニタリング調査に協力するなど、生物多様性保全の活動を継続しました。

■ 2025年度、収支計算書

(収入の部)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差額	備 考
サポーター資金収入	300,000	300,000	0	日本森林林業振興会
寄付金収入	830,000	643,000	-187,000	個人
雑収入	0	970	970	受取利息
収入合計	1,130,000	943,970	-186,030	

(支出の部)

科 目	予算額	決算額	差額	備 考
事業費	1,020,000	851,530	-168,470	寄付金収入に応じて予備費として予算化していたフィールドマナー向上を目的とした立て看板を設置
管理費	90,000	85,170	-4,830	
支出合計	1,110,000	936,700	-173,300	

(収支差額)	20,000	7,270	△ 12,730	
--------	--------	-------	----------	--

■ 2025年度、貸借対照表

単位:円

科 目	金額		
I. 資産の部			*注記1
1. 流動資産			(事業費)
現金預金	現金手許有高	4,316	1、環境整備・保全の活動
	りそな銀行箕面支店 普通預金	392,275	2、PR、普及啓発の活動
		396,591	3、安全対策の活動
	流動資産合計	396,591	4、生物多様性保全の活動
2 固定資産			※ 予備費
	固定資産合計	0	851,530
	資産 合計	396,591	(管理費)
II. 負債の部			NPO山麓委員会
1 流動負債			その他管理費
	未払金	0	85,170
	流動負債合計	0	
2 固定負債			
	負債 合計	0	
III. 正味財産の部			
	期首正味財産	389,321	
	当期正味財産増加額	7,270	
	期末正味財産	396,591	
	負債及び正味財産合計	396,591	

## 事業費の内訳

1、環境整備・保全の活動	90,020	
ベンチ設置	68,130	新規5台製作・補修2台補修費、振込手数料
ベンチ用アクリルプレート	11,890	15枚、振込手数料
大掃除大作戦協賛金	10,000	12月
2、PR、普及啓発の活動	-	2026年度に延期
3、安全対策の活動	53,858	
A4箕面の森の道標看板	47,240	新規緊急ポイント7枚+案内板2枚、振込手数料
道標支柱の用材	6,618	鋼材など
4、生物多様性保全の活動	64,212	
自動撮影カメラ	4,764	電池120本
清水谷調査活動	50,440	調査費用、振込手数料
ウシガエル駆除	9,008	イベント用保険代、消耗品
※予備費	643,440	
フィールドマナー向上看板設置	643,440	立て看板片面6台+両面1台、振込手数料
<b>管理費の内訳</b>	<b>85,170</b>	
交通費・通信費	8,930	森林総研委員交通費、切手代
協議会部屋代	6,240	会議室使用料
山麓委員会事務費	70,000	例会7回開催

## ○環境整備・保全の活動

新規ベンチ設置・・・林野庁勝尾寺園地4台、箕面林道1台



新規5台製作



老朽化2台補修



※日本森林林業振興会の支援を表記



## ○安全対策の活動

森の道標+緊急ポイント看板7か所

森の道標+案内板看板2か所



しおんじ山(池の谷緑地)周辺 G-31 G-32 G-33 B-42

粟生高原自然歩道 K-1 K-2 K-3

※日本森林林業振興会の支援を表記

## ○フィールドマナー向上の活動

立て看板片面6台+両面1台 7か所



林野庁勝尾寺園地、清水谷園地、政の茶屋園地、エキスポの森、オケ原池、教学の森、箕面大滝上駐車場